

「共創共栄」の理念のもと お客様のニーズに応え これまでにない製品を

能勢 孝一さん プロフィール

1994年3月 商学部経営学科卒 高田亮爾ゼミ

能勢鋼材株式会社 代表取締役社長

卒業後大阪イワタニ販売株式会社(現:大阪イワタニガス株式会社)を経て、1997年に能勢鋼材株式会社に入社、2004年に代表取締役社長に就任。2008年に新しく滋賀工場を設立し、過去最高の売上げを記録するなど父の興した会社をますます発展させている。1年365日、ブログを更新することが日課。

能勢鋼材株式会社

<http://www.nose-sus.co.jp/>



私

どもの会社は、主にステンレス鋼材の販売をおこなっています。この業界では昔、仕入れた鋼材をそのまま販売していました。それが昭和40年代頃から必要な分だけをカットして納品するようにな

タイルになり、今ではお客様のご要望にしたがつて、穴あけや曲げなどの加工もおこなうのが当然になっています。細やかなニーズに対応することが求められる一方、加工には設備が必要です。そこで、もともと弊社はダイエー発祥の地、大阪市旭区にありますが、10億円を投資し滋賀県に新工場を建設、最新機器を導入しました。

他社に先駆けて導入したのが、ウォータージェット切断機。水圧で10センチの厚さまで切断でき、まっすぐなめらかな切断面はこれまでの機械では実現できなかったものです。また、切断時に熱が出ないので、材質の変性もない画期的なものです。

新工場の完成はリーマンショックの翌月でしたが、悲観的になることはありません

でした。むしろ打って出られる原動力として、既存の市場のみならず、自分たちで市場を切り拓くことができる。そのためにはお客様の目線で要望に応えられること、何を求めているか察すること、つまり今後はマーケティングが重要になってきます。

学生時代はボーイスカウトのリーダーを務めていましたが、将来のことはあまり深く考えていませんでした。卒業後は一度就職し、平成9年に父の創業した会社へ転職、1年後に取締役に就任しました。ところが、平成16年に父が急逝してしまいました。

何一つ親孝行ができなかったと呆然としていたその時、親友からこんな言葉が、「父在ませば其の志を親で、父没せば其の行いを親る。三年父の道を改むる無きを、孝と

謂うべし」。つまり、父の道を受け継ぐことで、今からでも親孝行ができる。それを境に意を改め、自分を鍛え直そうと起業家養成スクールの研修の門を叩きました。

そこで気づいたのは、それまで会社に経営理念がなかったことです。二代目の私が社員を束ねてくには理念しかない。父はよく「共存共栄」と言っていました。しかし、今の多様化の時代は共に「存在」するだけではなく、共に「創造」することが大切と、理念を「共創共栄」と定め、明確な経営ビジョンも策定しました。

理念は、なにも企業だけのものではありません。私たち一人ひとりも人生の「経営者」です。みなさんも自分自身の理念を大切に、夢や目標を叶えてください。

